

【資料1】

令和5年3月20日

対馬海洋保護区しまうみ管理計画

第19回対馬市海洋保護区設定推進協議会



対馬市水産資源管理計画【磯資源】

令和3年度 対馬管内漁協の水揚量モニタリング結果

令和5年3月

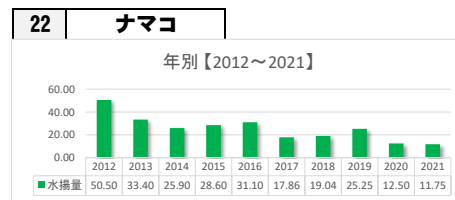
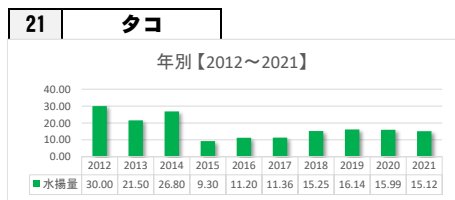
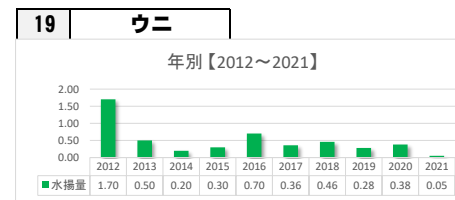
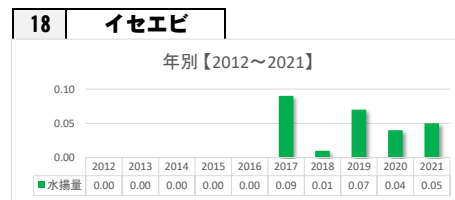
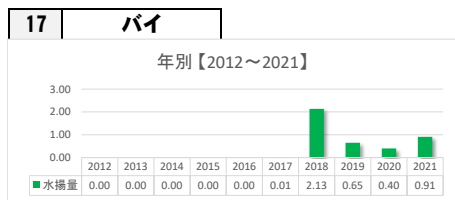
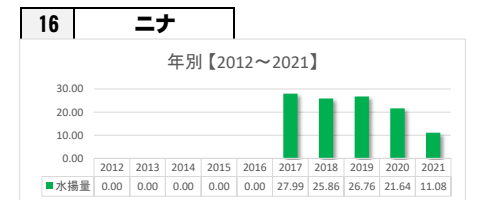
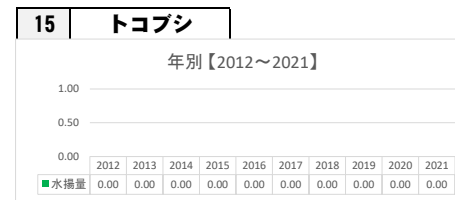
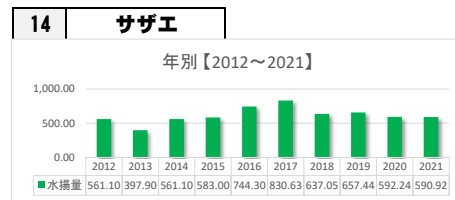
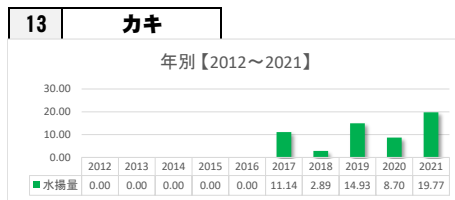
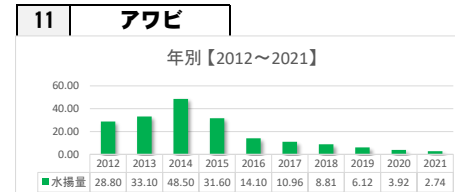
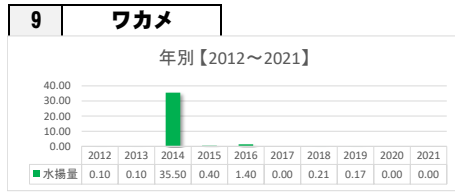
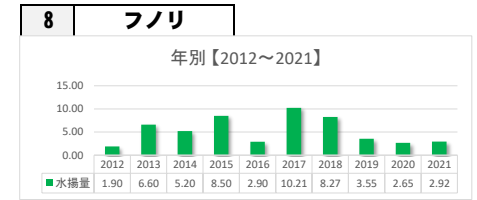
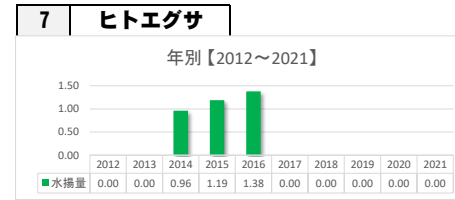
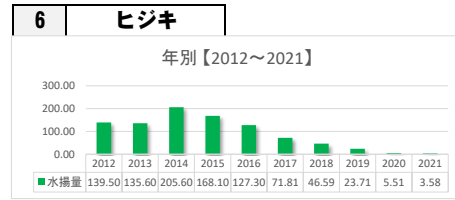
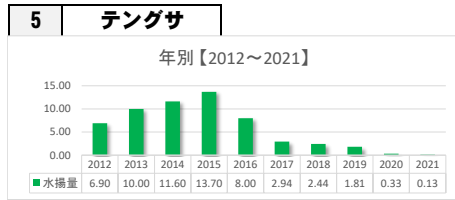
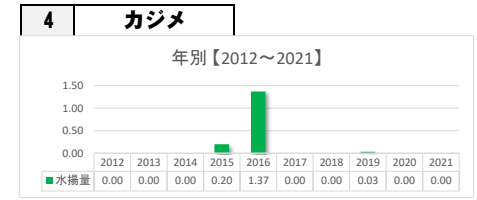
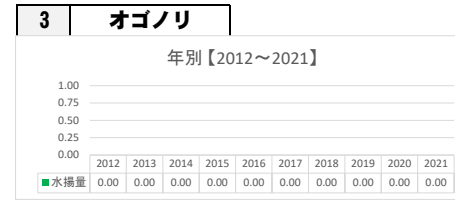
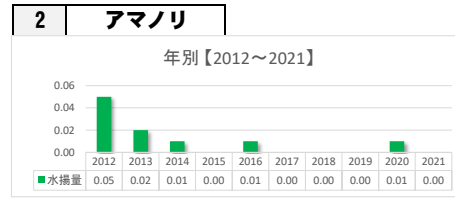
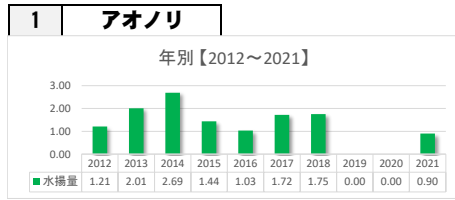
対馬市

■ 磯資源モニタリング結果 (年別水揚量 : 2012年~2021年)

単位 : t

【2021年版】

対馬市



(様式6)

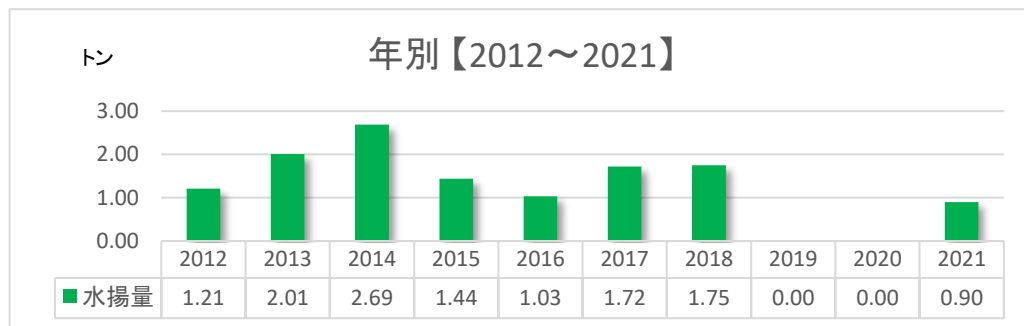
■磯資源モニタリング結果（個別）

【2021年版】

対馬市

1 アオノリ

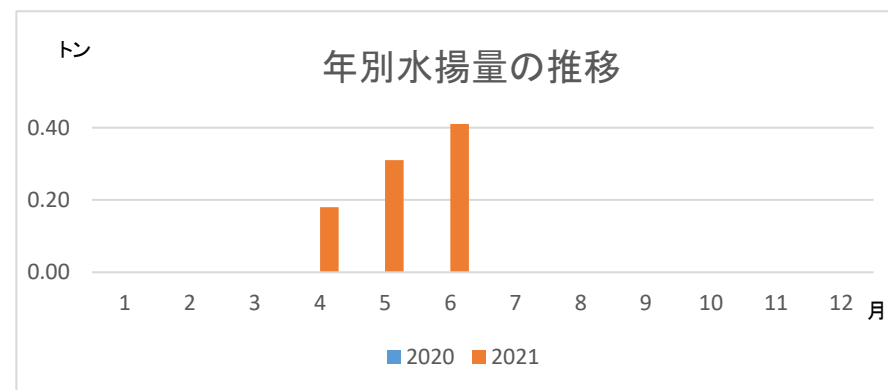
モニタリング期間:2021年1月～2021年12月



コメント

水揚げをするまでの資源量はなく、主に自家消費されている。砂流出等により資源量は減少傾向にあると思われる。

主な水揚げ先: 厳原

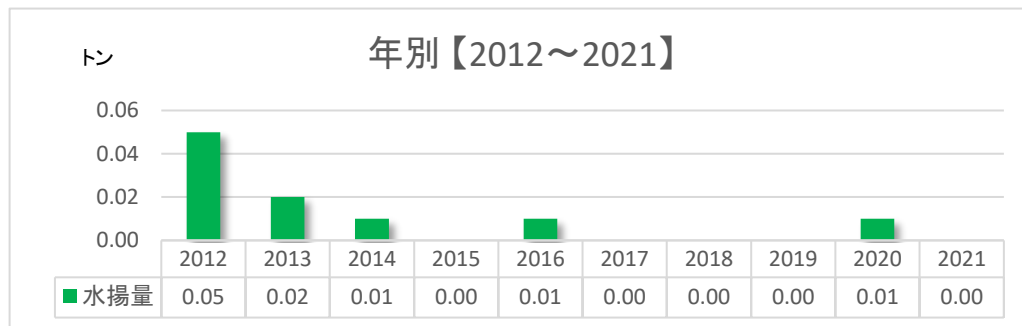


※第一種共同漁業権行使規則に記載されている水産資源を対象
※島内漁協の月別水揚げ状況によるモニタリング

2

アマノリ

2022年7月15日現在



コメント

資源量は増加傾向にあるが、水揚げするまでではなく、主に自家消費されている。



※第一種共同漁業権行使規則に記載されている水産資源を対象
 ※島内漁協の月別水揚げ状況によるモニタリング

3

オゴノリ

2022年7月15日現在



コメント

特になし。

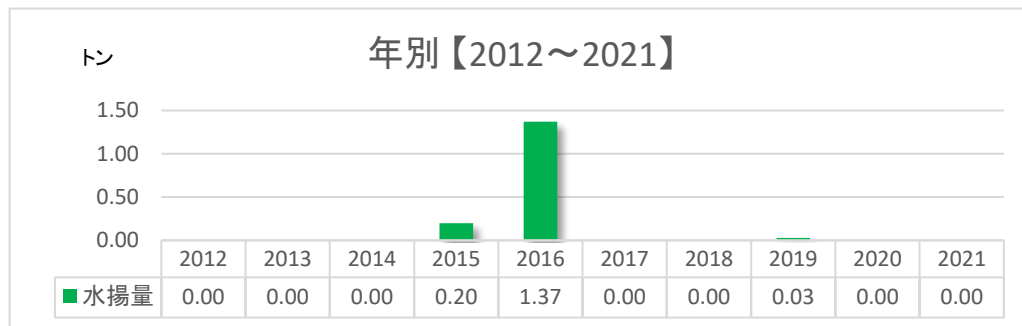


※第一種共同漁業権行使規則に記載されている水産資源を対象
 ※島内漁協の月別水揚げ状況によるモニタリング

4

カジメ

2022年7月15日現在



コメント

自家消費や小売りが多く、漁協をととしての水揚げはない。
対馬全域であまり見られなくなったが、深場に残存している可能性はある。



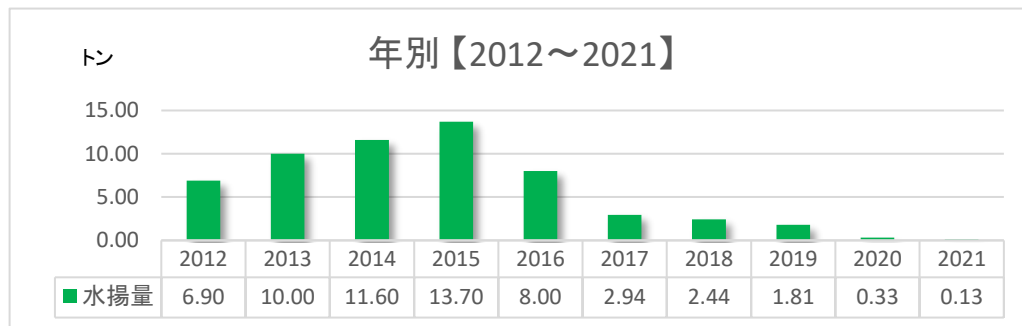
※第一種共同漁業権行使規則に記載されている水産資源を対象
※島内漁協の月別水揚げ状況によるモニタリング



5

テングサ

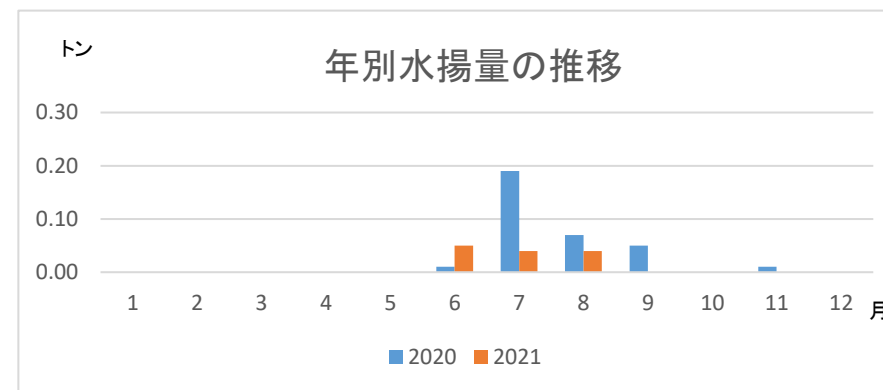
2022年7月15日現在



コメント

資源量は年々、減少傾向にあり採捕者も減っている。
水揚げはほぼなく主に自家消費されている。

主な水揚げ先：高浜、豊玉、上対馬南



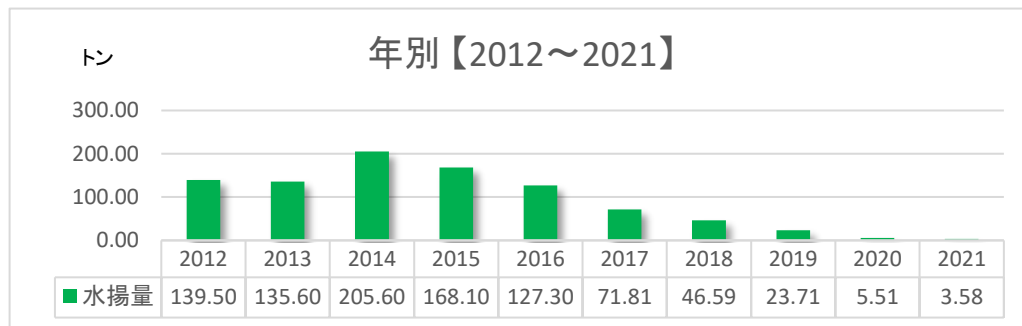
※第一種共同漁業権行使規則に記載されている水産資源を対象
※島内漁協の月別水揚げ状況によるモニタリング



6

ヒジキ

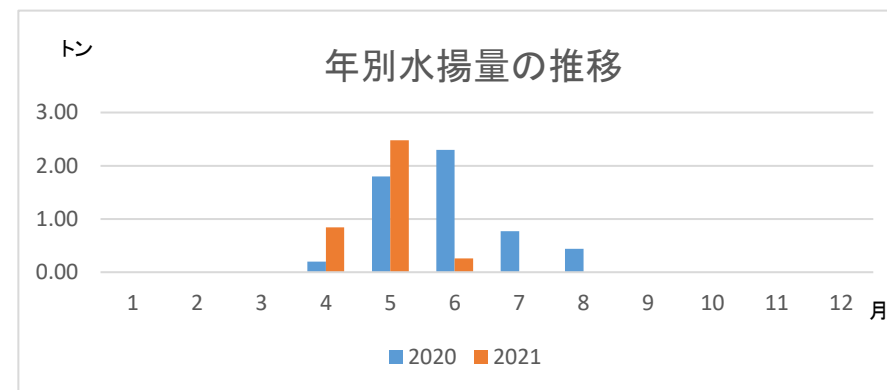
2022年7月15日現在



コメント

局地的に残存しているが、着底する場所が年々減ってきている。食害生物の影響と思われるが、5cm程度を残して食べられたような状態が多く収穫できるものが少ない。仕切り網の中では成長するため、海水温より食害の影響が大きいと思われる。

主な水揚げ先: 美津島



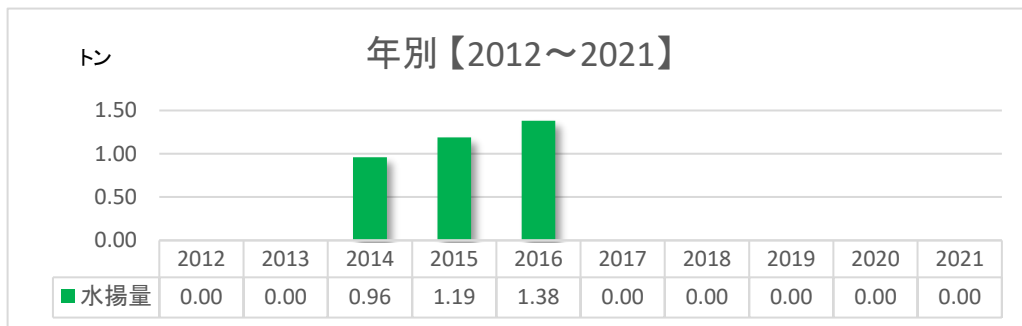
※第一種共同漁業権行使規則に記載されている水産資源を対象
 ※島内漁協の月別水揚げ状況によるモニタリング



7

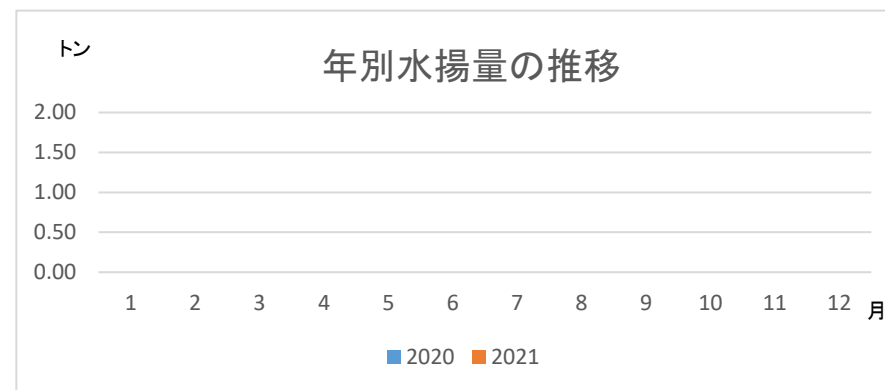
ヒトエグサ

2022年7月15日現在

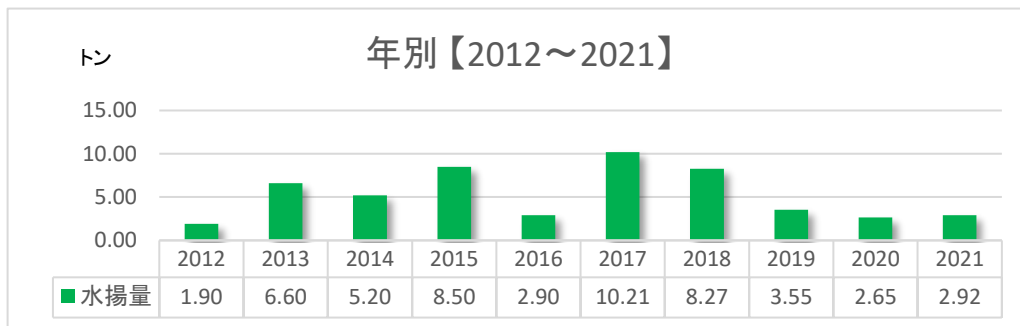


コメント

特になし。



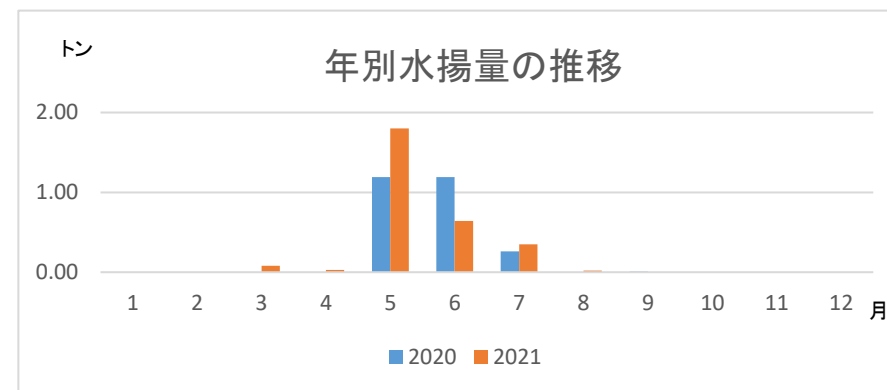
※第一種共同漁業権行使規則に記載されている水産資源を対象
 ※島内漁協の月別水揚げ状況によるモニタリング



コメント

単価も高く、資源量も増加傾向にあると思われるが、採捕者は減少している。

主な水揚げ先：豊玉、佐須奈、上対馬南



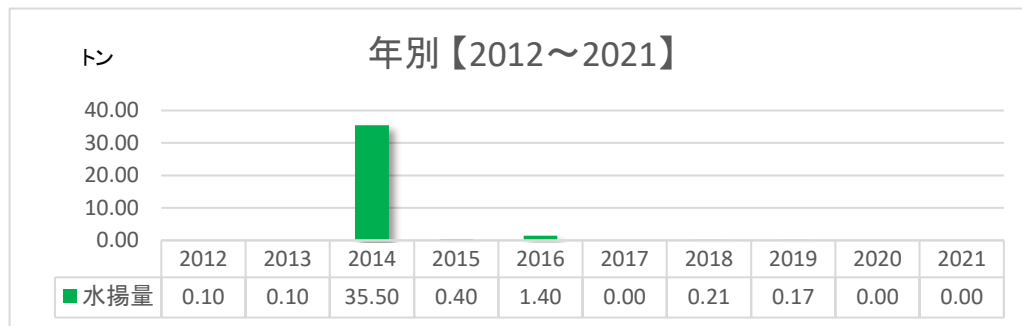
※第一種共同漁業権行使規則に記載されている水産資源を対象
 ※島内漁協の月別水揚げ状況によるモニタリング



9

ワカメ

2022年7月15日現在



コメント

安価であるため水揚げまではいかず、主に自家消費されている。
浮棧橋の岸壁でよく見られる。



※第一種共同漁業権行使規則に記載されている水産資源を対象
※島内漁協の月別水揚げ状況によるモニタリング



10

アサリ

2022年7月15日現在



コメント

局地的に生息していると思われるが、資源量は少なくサイズも小さい。生育する場所があまりないと思われる。



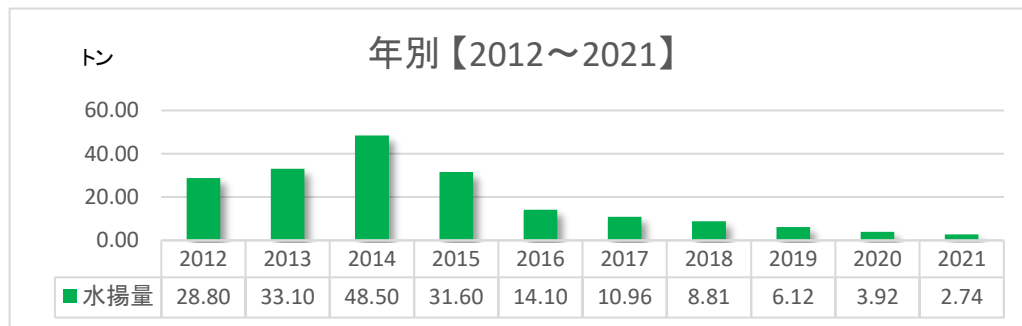
※第一種共同漁業権行使規則に記載されている水産資源を対象
 ※島内漁協の月別水揚げ状況によるモニタリング



11

アワビ

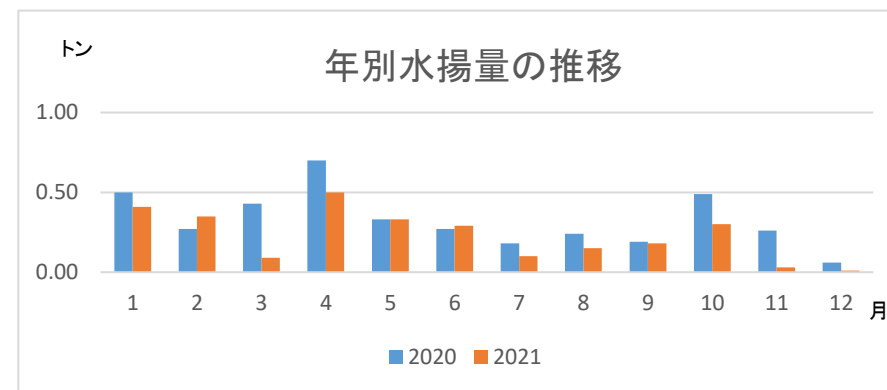
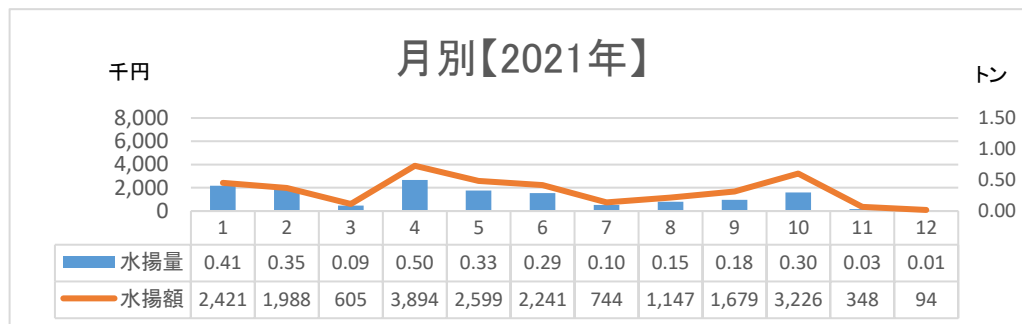
2022年7月15日現在



コメント

近年は身が痩せている個体が多く、資源量も激減している。
餌がないため成長が期待できず、稚貝放流の効果はあまり見られない。

主な水揚げ先：峰町東部、美津島、上対馬南



※第一種共同漁業権行使規則に記載されている水産資源を対象
※島内漁協の月別水揚げ状況によるモニタリング



12

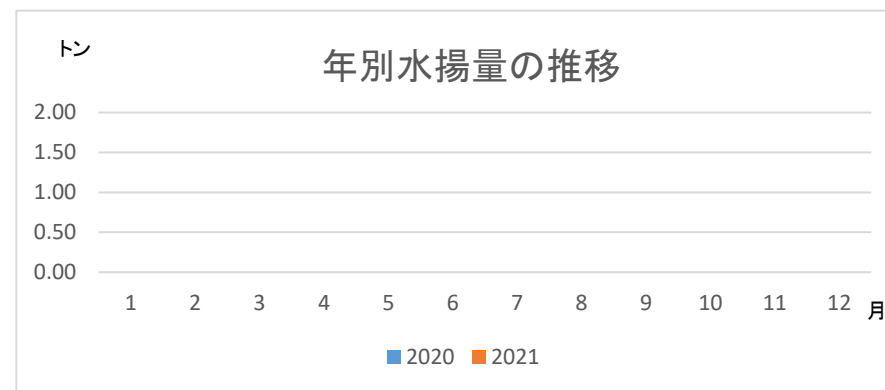
イシマテ

2022年7月15日現在



コメント

水揚げをするまでの資源量はなく、主に自家消費されている。



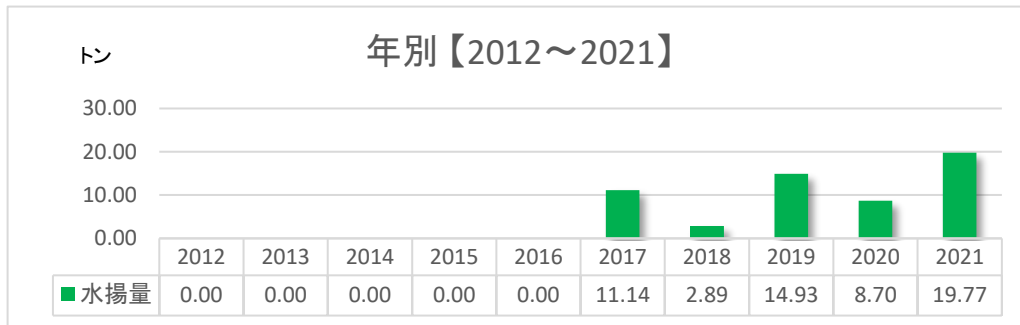
※第一種共同漁業権行使規則に記載されている水産資源を対象
 ※島内漁協の月別水揚げ状況によるモニタリング



13

カキ

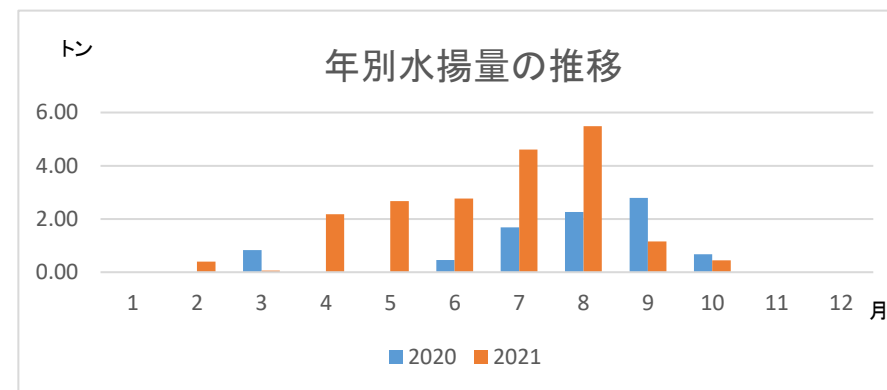
2022年7月15日現在



コメント

天然物も多少は生息していると思われるが、水揚げされているのは主に養殖物である。
岩ガキは増加傾向にあると思われる。

主な水揚げ先：美津島、上対馬、豊玉



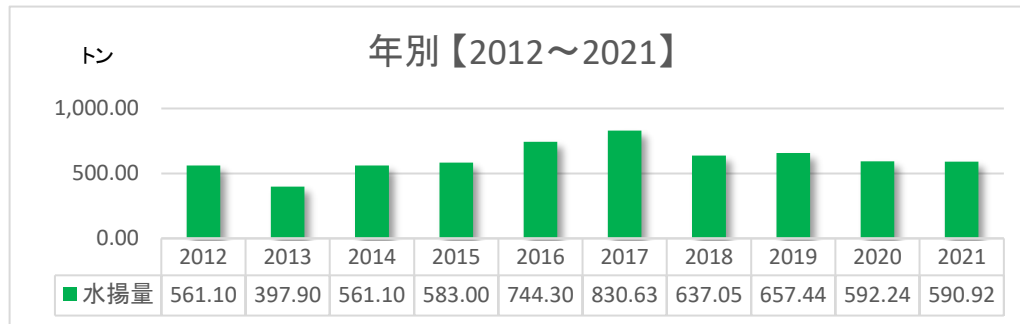
※第一種共同漁業権行使規則に記載されている水産資源を対象
※島内漁協の月別水揚げ状況によるモニタリング



14

サザエ

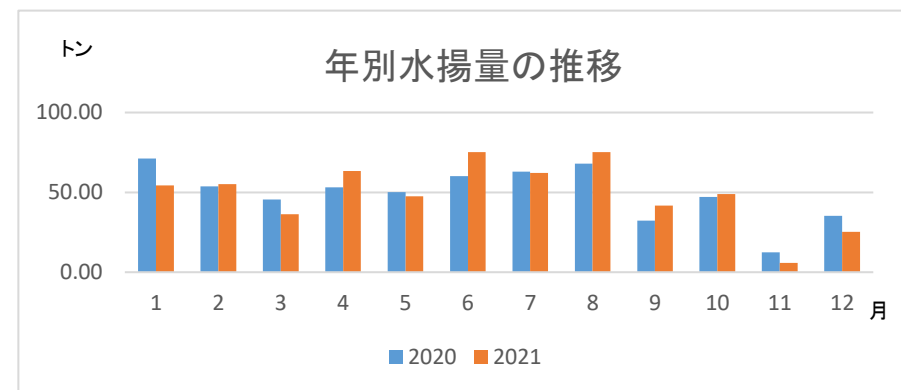
2022年7月15日現在



コメント

資源量は減少傾向にあるが、比較的安定しており激減はしていない。
近年は単価も安定している

主な水揚げ先：上対馬、豊玉、上対馬南



※第一種共同漁業権行使規則に記載されている水産資源を対象
※島内漁協の月別水揚げ状況によるモニタリング



15

トコブシ

2022年7月15日現在



コメント
特になし。



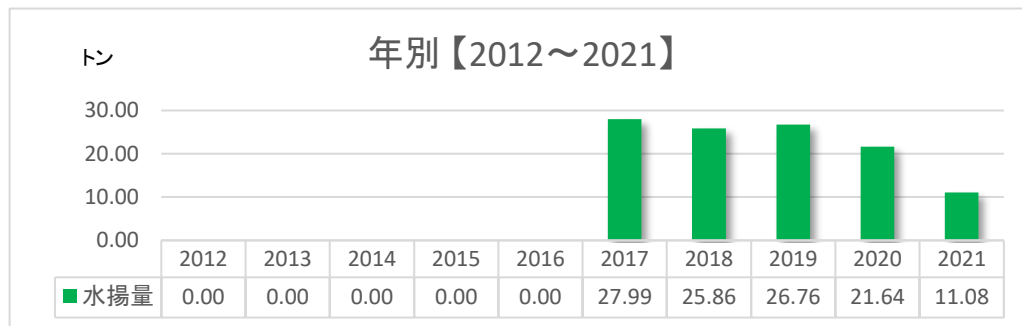
※第一種共同漁業権行使規則に記載されている水産資源を対象
※島内漁協の月別水揚げ状況によるモニタリング



16

ニナ

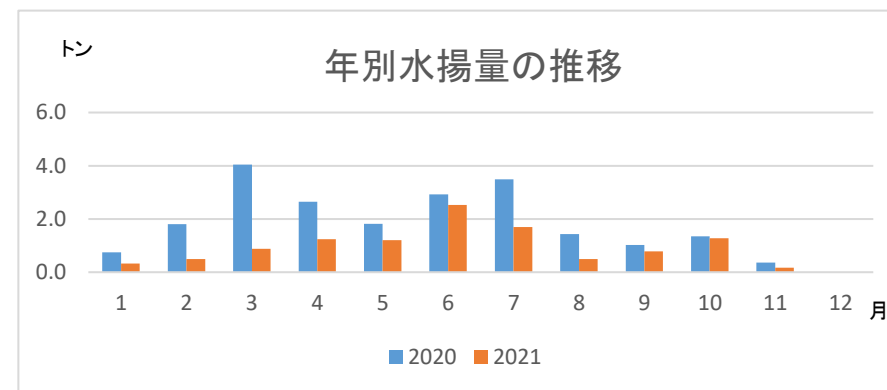
2022年7月15日現在



コメント

全島的に生息しており資源量は安定しているが、水揚げまではいかずに自家消費されている。
単価もサザエと遜色ないが、採捕者は減っている。

主な水揚げ先：豊玉、美津島、高浜



※第一種共同漁業権行使規則に記載されている水産資源を対象
※島内漁協の月別水揚げ状況によるモニタリング



17

バイ

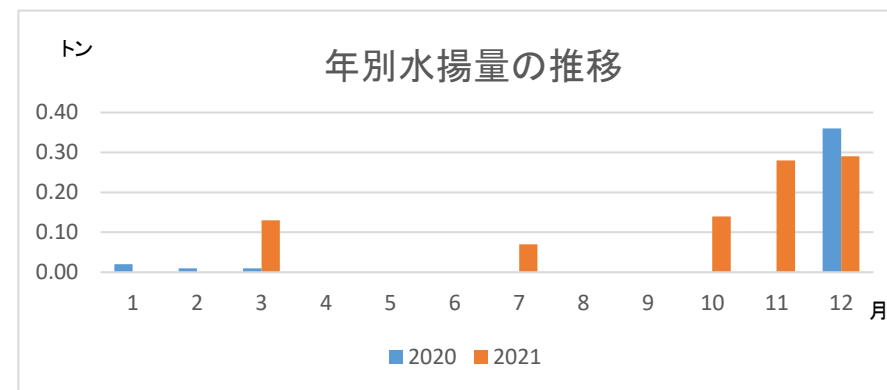
2022年7月15日現在



コメント

資源量はあまり多くなく減少傾向にあると思われる。
700円/kg程度であるが、採捕者は少ない。

主な水揚げ先：佐須奈、伊奈、上対馬南



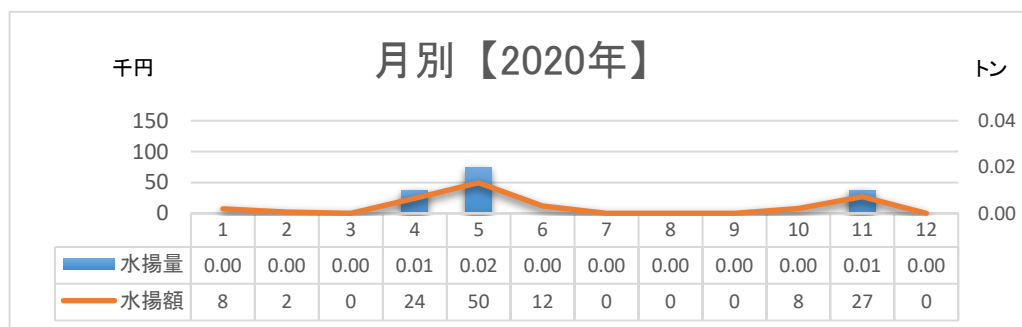
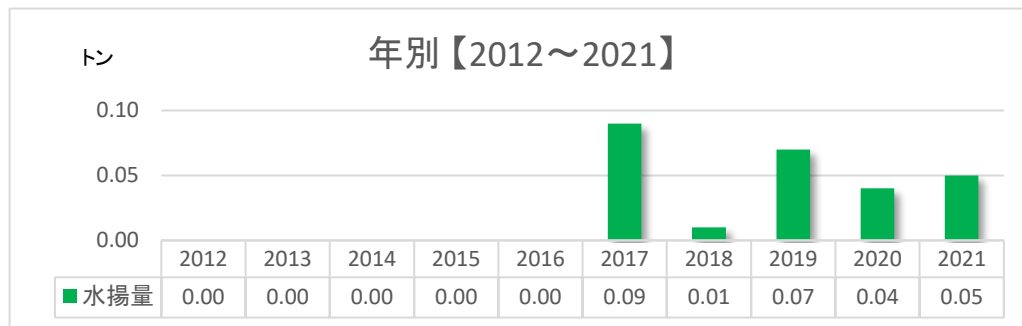
※第一種共同漁業権行使規則に記載されている水産資源を対象
※島内漁協の月別水揚げ状況によるモニタリング



18

イセエビ

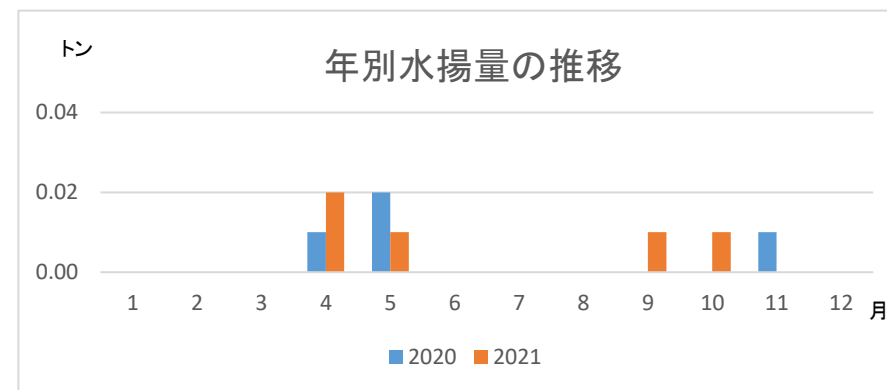
2022年7月15日現在



コメント

建網、潜りで採捕されているが、年々減少傾向にある。
全島の的に生息しているが、資源量は少ないと思われる。
沖防波堤によくいる。

主な水揚げ先：豊玉、佐須奈、美津島

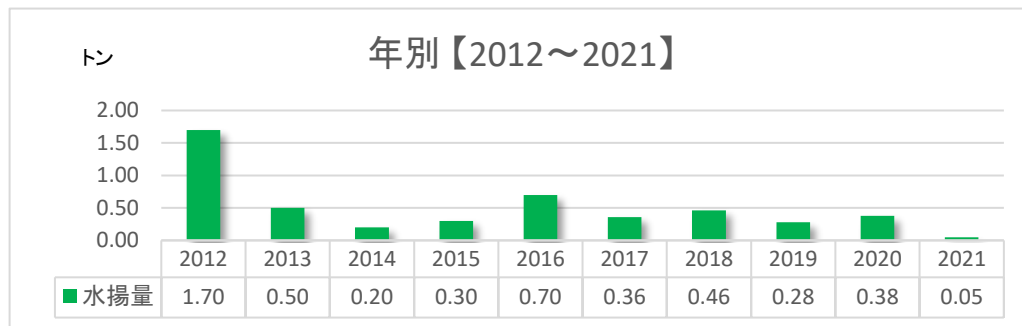


※第一種共同漁業権行使規則に記載されている水産資源を対象
※島内漁協の月別水揚げ状況によるモニタリング

19

ウニ

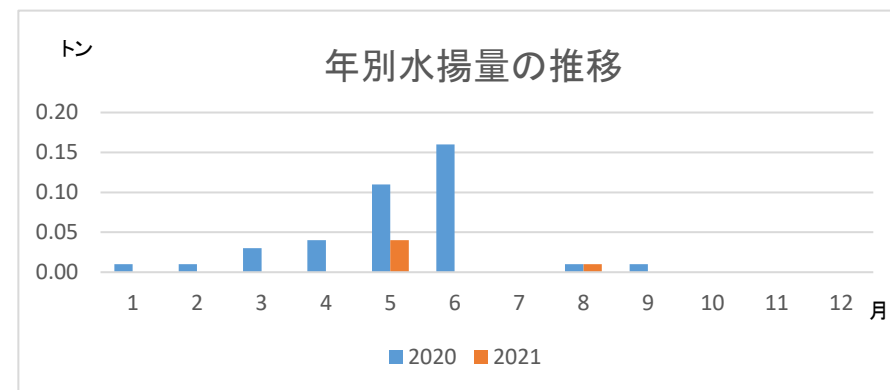
2022年7月15日現在



コメント

自家消費、小売りが主であるため、漁協の水揚げにはあがってこない。身入りの良し悪しを度外視すれば資源量が多い。

主な水揚げ先：美津島、佐須奈



※第一種共同漁業権行使規則に記載されている水産資源を対象
 ※島内漁協の月別水揚げ状況によるモニタリング



20

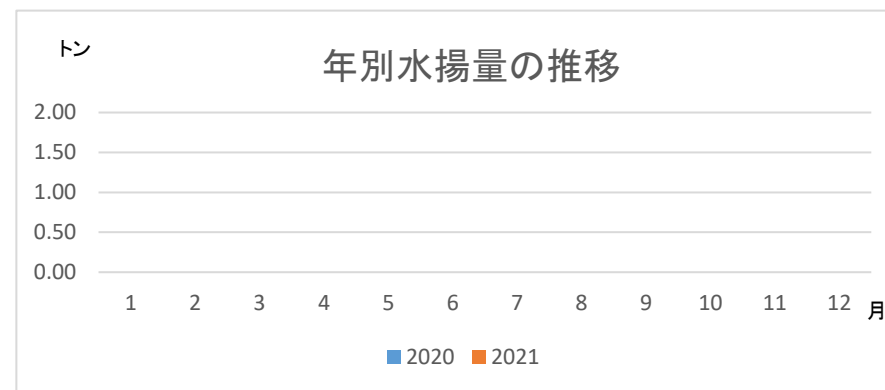
エムシ

2022年7月15日現在



コメント

特になし。

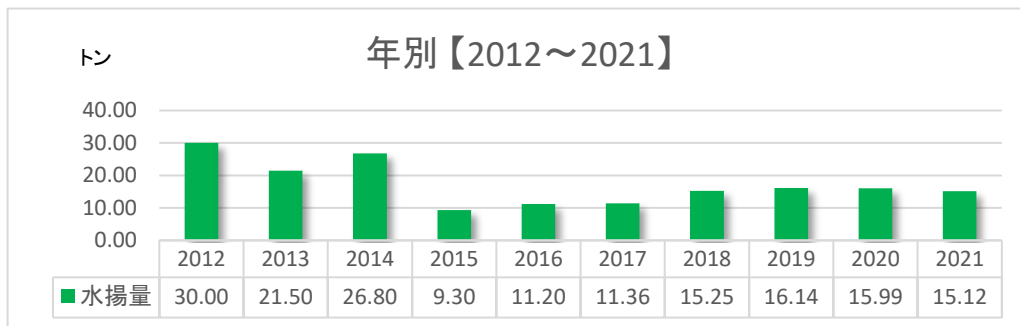


※第一種共同漁業権行使規則に記載されている水産資源を対象
 ※島内漁協の月別水揚げ状況によるモニタリング

21

タコ

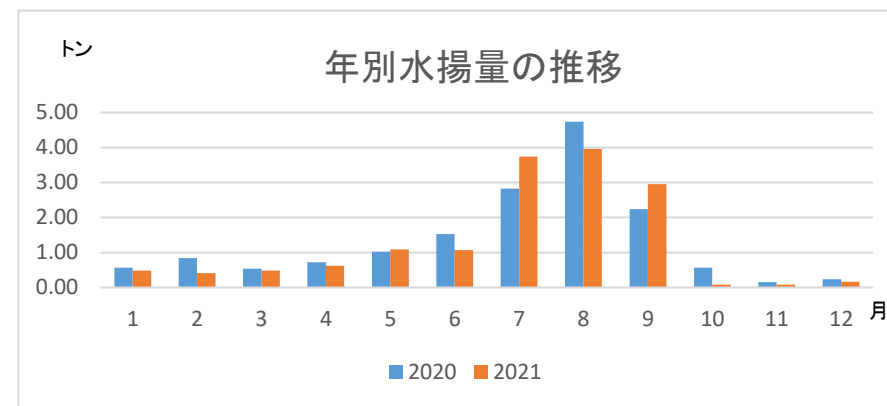
2022年7月15日現在



コメント

資源量、価格ともに安定している。

主な水揚げ先: 上県、上対馬南、豊玉



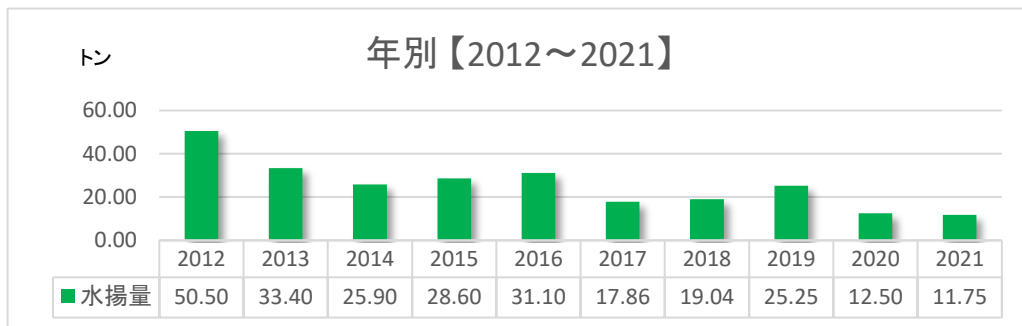
※第一種共同漁業権行使規則に記載されている水産資源を対象
 ※島内漁協の月別水揚げ状況によるモニタリング



22

ナマコ

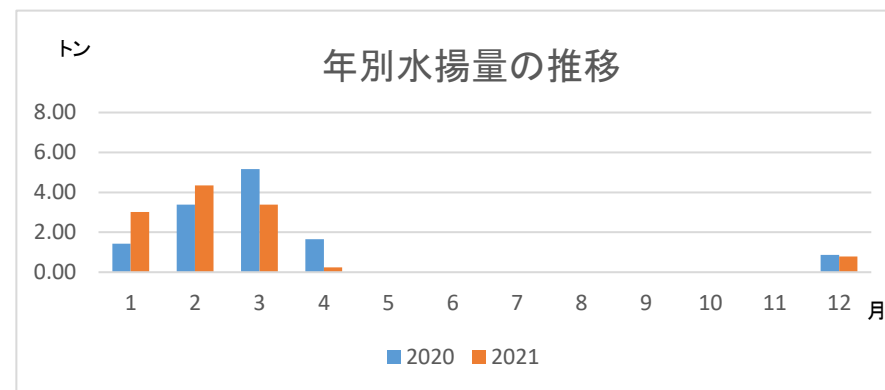
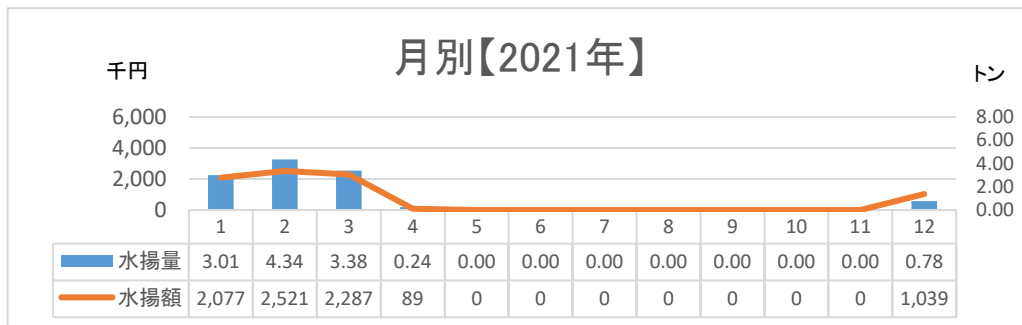
2022年7月15日現在



コメント

近年は資源量が増加傾向にあると思われる。

主な水揚げ先：美津島、上対馬、豊玉



※第一種共同漁業権行使規則に記載されている水産資源を対象
 ※島内漁協の月別水揚げ状況によるモニタリング

